

市民バスについて、燃料費や人件費の高騰等による運行経費の増加に対応するため、受益者負担と公的負担のバランスから全路線の運賃を見直すもの。

なお、子育て支援や、幼少期より市民バスを利用しやすくすることで公共交通への親しみを醸成する観点から、乗車運賃無料対象者を「小学校就学前の幼児」から「保護者同伴の小学生以下」に拡大する。

【運賃】

1. 期間 令和7年4月1日(火)から
2. 市民バス乗車運賃 200円(1乗車)
※土岐南北線、どんぶり会館バーデンパーク線において、「東駄知」「ウェルフェア土岐」停留所をまたぐ場合は400円
3. 運賃割引対象者 小学校就学前の幼児は、乗車運賃を無料とする。
ただし、保護者同伴の場合は小学生以下を無料とする。
障がい者割引を別表1のとおり適用する。
4. フリーパス券

<フリーパス券運賃>

①1ヶ月	8,400円
②2ヶ月	16,460円
③3ヶ月	23,940円
④6ヶ月	45,360円

<通学フリーパス券運賃>

①1ヶ月	6,000円
②2ヶ月	11,760円
③3ヶ月	17,100円
④6ヶ月	32,400円

<学期別通学フリーパス券運賃>

①1学期 (4月1日～7月31日)	20,140円
②2学期A (8月25日～12月31日)	22,220円
③2学期B (8月1日～12月31日)	27,020円
④3学期 (1月1日～3月31日)	14,620円

別表 1

券種	通常	障がい者 割引金額
1乗車(200円区間)	200円	100円
1乗車(400円区間)	400円	200円
一般定期(1ヶ月)	8,400円	5,880円
一般定期(2ヶ月)	16,460円	11,520円
一般定期(3ヶ月)	23,940円	16,760円
一般定期(6ヶ月)	45,360円	31,750円
通学定期(1ヶ月)	6,000円	4,200円
通学定期(2ヶ月)	11,760円	8,230円
通学定期(3ヶ月)	17,100円	11,970円
通学定期(6ヶ月)	32,400円	22,680円
1学期定期 (4/1～7/31)	20,140円	14,100円
2学期定期A (8/25～12/31)	22,220円	15,550円
2学期定期B (8/1～12/31)	27,020円	18,910円
3学期定期 (1/1～3/31)	14,620円	10,230円

運賃表(変更後)

券種	通常	障がい者 割引金額
1乗車(200円区間)	200円	100円
1乗車(400円区間)	400円	200円
一般定期(1ヶ月)	8,400円	5,880円
一般定期(2ヶ月)	16,460円	11,520円
一般定期(3ヶ月)	23,940円	16,760円
一般定期(6ヶ月)	45,360円	31,750円
通学定期(1ヶ月)	6,000円	4,200円
通学定期(2ヶ月)	11,760円	8,230円
通学定期(3ヶ月)	17,100円	11,970円
通学定期(6ヶ月)	32,400円	22,680円
1学期定期 (4/1～7/31)	20,140円	14,100円
2学期定期A (8/25～12/31)	22,220円	15,550円
2学期定期B (8/1～12/31)	27,020円	18,910円
3学期定期 (1/1～3/31)	14,620円	10,230円

保護者同伴の小学生以下は、乗車運賃を無料

運賃表(変更前)

券種	通常	障がい者 割引金額
1乗車(100円区間)	100円	50円
1乗車(200円区間)	200円	100円
一般定期(1ヶ月)	4,200円	2,940円
一般定期(2ヶ月)	8,232円	5,760円
一般定期(3ヶ月)	11,970円	8,380円
一般定期(6ヶ月)	22,680円	15,880円
通学定期(1ヶ月)	3,000円	2,100円
通学定期(2ヶ月)	5,880円	4,120円
通学定期(3ヶ月)	8,550円	5,990円
通学定期(6ヶ月)	16,200円	11,340円
1学期定期 (4/1～7/31)	10,070円	7,050円
2学期定期A (8/25～12/31)	11,110円	7,780円
2学期定期B (8/1～12/31)	13,510円	9,460円
3学期定期 (1/1～3/31)	7,310円	5,120円

小学校就学前の幼児は、乗車運賃を無料

収支率：運行経費と運賃収入の比率を表す指標で、以下の式で表されます。

$$\text{収支率（\%）} = \text{運賃収入} \div \text{運行経費} \times 100$$

例えば、収支率が30%の場合、運賃収入によって運行経費の30%がまかなわれているということになります。残りの70%については赤字となることから、税金で賄うこととなります。

市民バスにおいては、10年前のH26当時収支率が約20%だったものがR5年では約10%にまで低下しています。このままでは公共交通網の維持が危ぶまれますが、料金を見直すことで収支率が平成26年水準の約20%まで回復することが見込まれます。持続的な公共交通網構築のため、何卒ご理解とご協力をお願いいたします。

